



茨城県立緑岡高等学校

2023 年 No.1

Super Science High School News

緑岡高校は平成 25 年(2013 年)より文部科学省の指定を受け科学技術振興機構(JST)の支援のもと、先進的な理数教育の開発と実践に努めています。生徒たちは論理的思考を用い協働して研究に取り組むことで、将来、科学技術を支える人財に成長することを目指しています。今後、本校での取り組みを随時お伝えします。

※ 1 年「SP科学」始動! ※ SPは「さがかけプロジェクト」の略

本校に入学すると1年生は全員、「SP科学」という授業を受けます。「SP科学」では、2年生以降に実施する研究や探究活動を支える力を身につけるため、他の生徒や周囲と協働して、研究に取り組む基礎となるスキルや知識を実践的に身につけます。4/14に全体に対するオリエンテーションとしてSSH学年担当より、この授業の目的や生徒の皆さんに身につけて欲しい力やスキル、資質・能力、今年度1年間のスケジュールなどの説明を行いました。



※ 2 年理数科「SE課題研究」見学会 ※ SEは「サイエンスエキスパート」の略

本校は2学年になると、「普通科」と「理数科」に分かれます。4/19には、「理数科」の2年生が「理数科」3年生に対してインタビューを行いました。先輩たちからは、行っている研究内容や研究して良かったこと、苦勞したことなどを聞くことができました。それを受け、2年生からさまざまな感想や質問が出てきました。それらを共有することで、より深みのある研究につながられると思います。



1 年「SP科学」イメージマップ、ブレイン・ストーミング研修

1年生は、これから設定したそれぞれの課題に対して探究活動を行います。その際、発想や着想、気づきがとても大きな意味を持ちます。そのため、2回目の「SP科学」ではイメージマップ、ブレイン・ストーミング研修を行いました。イメージマップ、ブレイン・ストーミングは、近年、ビジネスなどにおいても注目される手法です。どの生徒も、ある1つのテーマから多くの事柄を連想したり多角的に思考したりすることができるようになりました。

※ 「SE課題研究」チューター ※ 本校における「チューター」とは、職務として正式に任命され、研究上の相談に乗ったり、サポートや助言を行ったりする大学生・大学院生のことです。

今年度も茨城大学の大学院生がチューターとして生徒の「SE課題研究」に協力してくれます。今年度は3名の大学院生が『チューター利用の手引き』によって、生徒と意図を共有しました。生徒たちは身近なロールモデルに触れることで、チューターたちは研究者・指導者として経験を積むことでともに成長していきます。